

第二回 クオリティ製品分科会（大阪） 議事録

日時： 2010/02/03（水）14:00～17:00

会場： 丸紅大阪本社ビル 13F 会議室

テーマ： QAW/QOH 導入から3ヶ月～三星ダイヤモンド工業様～現在までの取組み状況と課題～

司会・進行： クオリティ製品分科会座長 田中幸男 氏  
大阪市立大学大学院 創造都市研究科 都市ビジネス専攻  
アントレプレナーシップ研究分野 Master

参加者 三星ダイヤモンド工業株式会社 様 2名  
事務局 3名  
クオリティ大阪支店 3名  
各社分科会メンバー 8名 座長含め 計16名

<第一部>

座長ならびに事務局よりご挨拶と本分科会の目的ならびに本日の進行についてご案内。

参加者の情報共有のため第一回開催時のフラッシュバックを経て本日の課題提示を行う旨をご案内。

発表：三星ダイヤモンド工業株式会社様

三星ダイヤモンド工業様にてご用意いただいた資料に沿ったご説明（資料別途）

◆第一回開催時の資料を引用いただき目的・計画・実施状況等についてご紹介

◆今回の資料を引用いただきこれまでの取組み状況と現在の課題についてご紹介

- これまでに実施できたこと
- ・ 運用計画と現在の進捗については概ね計画通りに進んでいる。
- ・ 以下の成功事例をフィードバックとしてご紹介。
  - サーバ設計時、パラメータ設計について
  - クライアントPCへのクライアントソフト配布方法のノウハウについて
  - クオリティが提供している「ソリューションツール」活用ノウハウについて
  - 管理開始時の告知のノウハウについて
- これまでに実施（予定だったものが）できなかったこと
- ・ ソフトウェア競合と思われる事象に対する切り分けに手数がかかっている。  
そのためすべてのクライアントへの展開を一旦停止している。

- 現在の課題

- ・ソフトウェアライセンス管理を行う必然性が高まってきている。  
⇒永続的な管理を行う前提で差分の管理を含めて想定した場合の課題について
- ・クライアント操作ログの利活用について  
⇒様々なログ収集が期待どおり行えるが、活用・ルール化に至る選択肢が多く試行錯誤中。

<第二部>

座長の進行により、参加者より自己紹介・質問事項・課題等ご意見をいただきながらディスカッション。

\*様々なログが取得できるための利活用に至るためのステップについて討議。

- ・セキュリティレベルの運用パラメータの設計ステップについて  
インスタントメッセージが追加で利用禁止が決定した等の事例について
- ・現場の納得感を得ての運用について
- ・生産性向上を目的とした監視を加えた運用について
- ・抑止力と言うより制限を加えた運用について

\*Web 閲覧のアクションを監視して行くと考えた場合の、フィルタリングを行うべきか?について討議

- ・フィルタリングソフトで行っているブラックリストの考え方について
- ・ダークサイトに対する物理規制と教育の比重について

\*ソフトウェアライセンス管理に関する最近のトピックについて議論。

- ・ソフトウェアメーカーによる監査アクションについて

\*PCの負荷上昇について経験を含めた議論

※ 当分科会の運営方針により、個人名は議事録内からは削除しております。ならびに、個人/会社名を特定できる発言、および発表者から公開の許可を得られなかった内容は 議事録より削除されていきます。あらかじめご了承ください。